



2017年7月15日発行

第 614 号

発行 / 社会福祉法人 天童会 飯野順子

運動会について

モノクロの、古いビデオを見ました。それは当時のプレイルームでしょうか、決して広いとは言えない室内のテーブルの上には、かごが置いてあり、テーブルを囲んだ子供たちが一生懸命白い球をかごに入れていきます。よく見ると、背景には天井からつるされた万国旗も映っていました。場面変わって、今度は廊下です。子供たちが、全身を精一杯使って進んでいます。周囲には、笑顔で応援するみんなの姿も映っていて、楽しい1日であった様子が手にとるように伝わってくる画像でした。

これが、第1回目の運動会の様子です。「重い障害を持つ子供たちにも、楽しい運動会をやってあげたい…」創設者である草野熊吉氏の夫人、照子先生は保育士でした。一人ひとりが「できる力を振り絞って発揮できる競技」と、工夫し始まったのが秋津療育園大運動会の原点です。



(秋津昭和の写真より)

ずっと、当園の運動会は全棟一緒に開催されてきました。子供たちの競技は、お遊戯、太鼓鳴らし、そして徒競走など、現代にも通じる創意工夫が感じられます。何カ月も前から練習し予行練習もやって当日を迎えていたようです。

そして何より盛り上がったのがご家族と一緒に玉入れやパン食い競争、綱引き等々でした。みんなと一緒に応援して、笑って、頑張って…そんな1日だったそうです。(昭和40年代の秋津新聞より)



(秋津昭和の写真より)

そして現在、棟ごとに会場が分かれ、それぞれの園生の体力に合わせた内容で実施されています

応援席も一緒に参加する宝探しや、皆で大きな作品を作ったり、車いすダンス・リレー等々の棟の競技も園生が全員何かの形で参加できるように工夫されています。一人ひとりの名前を呼んで競技の内容と合わせて紹介します。自分のペースで園生たちは頑張ることができます。

昔も今も周囲の大きな声援に応え、一生懸命に頑張る姿は変わりません。園生の頑張りに胸の熱くなる場面もたくさんありました。58年前の創設者ご夫妻の思いを受け継ぎ、今でも開会式には「主、我を愛す」を歌います。

少しずつ、形は変わっていますが、園生にとって思い出に残る大切な1日となるような運動会を続けていきたいとお待っています。(高橋)

行事予定(8月～10月)

- 8月 3日Ⓞ デザートバイキング(2棟A)
- 6日Ⓞ デザートバイキング(3棟)
- 20日Ⓞ 誕生会
- 9月 3日Ⓞ あきつこどもの日(納涼会)
- 合同防災委員会
- 17日Ⓞ 誕生会
- 10月 8日Ⓞ あきつこどもの日



第 58 回 秋津大運動会

6月4日第58回大運動会を開催いたしました。利用者様の高齢化、車椅子の使用状況も踏まえ、各棟に分かれて中庭やプレイルームにて実施いたしました。



各棟の様子



小金井公園に行ってきました。緑に囲まれて気持ち良かったです

園外療育

1病棟

還暦祝い

還暦のお祝いをしました
たくさんの方から「お祝いメッセージ」をいただきました



音楽取り組みの様子です
「海」 「七夕」 などみんなで演奏しました

音楽取組み

2病棟

園外療育

園外療育で「豊島園」に行きました
乗り物にもたくさん乗りました



料理教室で「たこ焼き」パーティーをしました
楽しくて・・・美味しかったです

料理教室

3病棟

日中活動

成長を観察してきたジャガイモを収穫しました
いい出来です



ここが私のお気に入りの竹林なのです

戸外活動

4病棟

お散歩

お花見に行ってきました
桜と菜の花のコラボレーション
素敵！でしょ



「イチゴ！」毎年駐車場横の畑に可愛らしい白い花を咲かせ、気が付くと赤い立派な実をつけてくれます。ジャムにして皆で美味しく頂きました。

通園

料理教室

デザート外出

運動会やデザート外出と盛り沢山な活動がありました



日本財団の方々が視えました

6月19日～23日の5日間、新人研修の一環として日本財団より職員9名の研修をお受けしました。これから国内外において様々な分野で活躍されるみなさんです。病棟での利用者様との触れ合いを通して障害者支援の難しさと大切さを学んだと言われた言葉が印象に残りました。



平成29年度 日本重症心身障害福祉協会 全国施設長会議

平成29年度日本重症心身障害福祉協会全国施設長会議は、去る5月18日から2日間、北海道旭川市の「アートホテル旭川」において開催されました。

また、全国施設長会議の前日には協会の定時総会が開催され、施設職員の永年勤続表彰が行われ当園からは、山本博（事務局）、鈴木馨梨（こひつじ園）早川里英（療育部）の3名が表彰されました

全国施設長会議は、主催者発表で126施設372名ということで、広い会場も満席状態であったが、開会式に始まり、「行政説明」、「特別講演」、「シンポジウム」及び「報告事項及び協議」というプログラムで予定通り、特に新しい話題もなかったが、重症児者施設関係者にとって5年前の法改正後、大きな課題となっていた「児・者一貫」については、「入所者の年齢や状態に応じた適切な日中活動を提供」することを前提に恒久的に認めるという厚労省からの説明があり、協会のご努力に感謝したところであります。

そうしたことも踏まえて、シンポジウムは「入所施設のこれからの在り方を考える」というテーマで、基調講演1題と5人のシンポジストの意見発表があり、今後の施設の在り方に示唆を与える内容が話し合われました。

特別講演は、前重症心身障害福祉協会理事長の岡田喜篤先生から、法制化50周年を迎えた施設の歴史について、様々なことを先生のご経験も踏まえて語られ、大変印象的な講演でありました。（深澤）

公益社団法人日本重症心身障害福祉協会 永年勤続者表彰について

永年勤続者表彰実施については、昭和52年に本協会の初代理事長（秋津療育園初代理事長）故草野熊吉氏が『朝日社会福祉賞』を受賞、副賞としての100万円を本協会に寄付された。

これをきっかけとして昭和53年度から毎年度通常（現定時）総会時において全国の重症心身障害児者施設に10年以上勤務した者を対象として表彰状と記念メダルを贈り、その功績を称えているものである。



（当園からの出席者）

編集後記

年を重ねるごとに身体の自由が少しずつ利かなくなってきた利用者様も増え、車椅子で運動会に参加する姿が目立つようになりました。それでも、58年間運動会を続けてこられたのは、当園スタッフの取り組み、後援会のご支援や多くの方々の支えがあるからです。改めて感謝申し上げます。重症児者を取り巻く環境や状況は変わってきております。微力ながら私も堅忍不拔の精神で勤めてまいりたいと思います。（小池剣）

おもちゃの病院（現任研修）

5月31日の施設内研修は、国分寺おもちゃ病院院長・角文喜先生にお越しいただき、「障害児の遊びの支援」というテーマでお話をさせていただきました。障害のあるお子さんでも遊べるように改造したおもちゃや、先生自作のスイッチを体験しました。今後の日常の活動に、取り入れやすいアイデアもたくさんいただき、盛会となりました。



人事

【採用】白根 恵（看護師） 佐藤美宇（看護助手）
池田智子（用務員） 鈴木辰巳（用務員）
大室真美（看護師） 藤原紗耶香（保育助手）
佐藤京子（用務員） 小島大輔（用務員）
大塚義明（調理師）

【退職】比留間夕果 井上さとみ 渡邊美沙
薄田七海 高橋光子

【昇格】山本景子 機能訓練室主任

ご寄付 皆様のご厚意に御礼申し上げます

金7万円 よこいとグループ 様
金5万円 米村純一 様
金5千円 玉川洋子 様
金13,970円 日本キリスト教団目白教会 様
金3万円 株)フジタ 様
金1万5千円 岡田生樹 様
金5千円 ひかり幼稚園若草会 様
毛布等 高田徳子 様
野菜ジュース 伊藤知子 様
タオル 佐竹しのぶ 様
紙おむつ 内山京子 様
果物等 八百忠 様
飲料等 西尾幸雄 様
日用品等 社団法人日本民生文化協会 様
タオル 女子聖学院 様
タオル等 朝霞准看護学校50回生 様
タオル等 高橋八重子 様
オムツ等 門倉裕子 様
洗剤等 天理教東本大教会内部女子青年 様

あきつ 第614号

E-mail : jimukyoku@tendoukai.net
HP : http://www.tendoukai.jp

発行人 / 飯野 順子
発行 / 年4回 1・4・7・10月発行

